

## j02 大型製品の切れ・割れ

### 欠点の外観上の特徴：

製品にクラックが入り割れること。乾燥工程、焼成工程、その他素地の調合不適正にも起因。

### 検査・試験方法：

目視観察、打音試験。

### 欠点の原因：

大型の製品は乾燥が不均一になりやすい。乾燥が先に進んだ部分は乾燥収縮が大きく、そうでない部分は乾燥収縮が小さいので、この乾燥度合いの異なる部分で変形が起こり、割れにつながる。

### 欠点の防止対策：

乾燥をゆっくり均一に行う。3 日から 4 日を目安に時間をかけてゆっくりと乾燥させる。成形後に発泡スチロールなどで出来た箱に入れる。タタラ成形品は下にタタラ板等を敷き、全体を均等に乾燥させる。

大型の袋物（壺、花瓶等）は濡れ雑巾を掛けるなどして口元からの乾燥切れを防ぐ。

形状が複雑であったり、素地が厚すぎる・厚さが不均一、鋭角な部分がある場合は乾燥収縮の速度にずれが生じやすく、そのため、切れ・割れにつながりやすいので、乾燥条件が不均一にならないように注意する。

### その他：